



ピークレスの取組みについて

現状と課題

- 大宮駅では朝の通勤・通学時間帯のバス待ち客による混雑が課題となっている
- 朝のピークの需要に合わせたバスの供給をするためには、多くの運転手を動員する必要があり、運転手確保に課題を抱えている状況
- こうしたことから、利用者が多い沿線の学校と課題解決に向けた意見交換を実施

学校と連携したピークレスの取組み

- 大宮国際中等教育学校では、令和6年度からは、学年ごとに登校時間を変更することで、ピークレスに取り組んでいる
- 大宮開成高校でも、令和7年度より登校時間の変更によるピークの分散化に御協力いただく予定
- 今後は、利用者の分散の状況等を確認しつつ、効果的にピークレスが進める方策について学校やバス事業者等と連携して検討を進める



大宮駅西口1、2番乗り場のバス待ちの状況



大宮駅東口7番乗り場のバス待ちの状況



大宮駅東口11番乗り場のバス待ちの状況

